

3 指定管理者が行う公の施設の管理状況報告(令和2年度分)

< 県の評価等 >

施設所管部名: 教育委員会

1 指定管理者の概要等

Table with 2 columns: 施設の名称及び所在, 指定管理者の名称等, 指定の期間, 指定管理者が行う管理業務の内容. Content includes 三重県立鈴鹿青少年センター and 公益財団法人三重県スポーツ協会.

2 施設設置者としての県の評価

※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

Table with 4 columns: 評価の項目, 指定管理者の自己評価 (R1, R2), 県の評価 (R1, R2), コメント. Rows include 1 管理業務の実施状況, 2 施設の利用状況, 3 成果目標及びその実績.

※「評価の項目」の県の評価: 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。 「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。 「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

Table with 2 columns: 総括的な評価, 評価内容. Content includes a detailed summary of facility management performance, mentioning user numbers and service quality.

<指定管理者の評価・報告書(令和2年度分)>

指定管理者の名称:公益財団法人三重県スポーツ協会

1 管理業務の実施状況及び利用状況

(1)管理業務の実施状況

①鈴鹿青少年センター条例第2条に基づく事業の実施に関する業務

- ・ 管理施設の利用及び指導業務、青少年又は青少年育成関係者への研修業務、利用許可等に関する業務、利用料金の收受等に関する業務、管理施設の維持管理及び修繕に関する業務を実施した。
- ・ 利用及び指導業務では、原則として宿泊する全ての団体に対してオリエンテーションを実施し、利用方法の説明を行った。指導面では利用団体の生活面だけでなく、センター職員が創作活動の講師等も行い研修活動を支援した。
- ・ 青少年又は青少年育成関係者への研修業務では、21の主催事業を開催した。幼児から一般まで幅広い層にわたって、自然体験活動及び生涯学習の場の提供をすることができた。
- ・ 利用許可及び利用料金の收受等に関する業務では、利用許可の基準・利用料金の納入方法を定め、あらかじめ基準を利用者に明示し、適正に運用した。
- ・ 利用者アンケートで寄せられた意見や職員からの提案等対応可能な個所から適宜対応を行うことで、施設の利便性向上を図った。

②施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

- ・ 令和2年度は総額6,942,320円の修繕を実施した。令和元年度と比較すると約199万円減額となった。排水管の腐食や天井からの雨漏りなど施設の老朽化に伴う故障が発生したが、利用料金収入が見込めず収支状況がひっ迫したことから、特に年度後半に必要な修繕ができなかった。
- ・ 大規模な修繕が必要となる箇所のリストを作成し、三重県教育委員会と情報共有を行っている。

③県施策への配慮に関する業務

- ・ 人権尊重社会を目指し、職員の意識向上を図るため研修会を実施した。多くの人が平等に利用可能であるようユニバーサルデザインの実施に努めた。
- ・ 新型コロナウイルス感染防止対策として、4月から5月にかけて48日間臨時休館したほか、「三重県立鈴鹿青少年センターの新型コロナウイルス対策ガイドライン」を設定して感染防止対策を徹底した。

④情報公開・個人情報保護に関する業務

- ・ 情報公開については、「公益財団法人三重県スポーツ協会情報公開実施要領」を策定しており、これに基づき対応を行っている。
- ・ 個人情報については、「公益財団法人三重県スポーツ協会個人情報保護実施要領」を策定しており、これに基づき個人情報の取扱いを行っている。また、個人情報保護方針のホームページ掲載や館内掲示、申込書等には、個人情報の取扱を明示している。施設内での個人情報が掲載された申請書等は、外部へ漏洩しないように保管ロッカーは施錠し、職員一同で厳重に注意し、保管・管理を行っている。
- ・ 令和2年度における情報開示請求はなく、個人情報の漏洩もなかった。

⑤その他の業務

- ・ 主催事業について地元の広報紙に情報提供を行うとともに、チラシを地元小中学校や近隣の県庁舎等に配布した。利用団体の増加を目的としてGoToトラベル事業に登録した。

(2)施設の利用状況

| <目標>    |         | <実績>    |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 施設延利用者数 | 73,300名 | 施設延利用者数 | 12,880名 |
| 定員稼働率   | 26.5%   | 定員稼働率   | 2.6%    |

施設利用許可は、基本協定書第9条に基づき定めた利用許可基準を設けて許可判断を行い、令和2年度は不許可となる事例はなかった。

2 利用料金の収入の実績

- ・ センターで独自に定めた目標施設利用料42,300千円に対して、令和2年度実績は4,873千円となり、目標値から37,427千円減となった。
- ・ 利用料金の免除  
保育園(所)・幼稚園・小学校・中学校・高等学校が学校行事として利用する場合は、引率指導者は被引率料金とし、研修室料金の免除を行った。また、学校行事の場合を除き、3歳以下の乳幼児利用は免除とし、令和2年度の利用料金免除額は113,350円となった。

3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位:円)

| 収入の部         |             |             | 支出の部   |             |            |
|--------------|-------------|-------------|--------|-------------|------------|
|              | R1          | R2          |        | R1          | R2         |
| 指定管理料        | 61,094,000  | 72,843,000  | 事業費    | 5,053,226   | 1,010,497  |
| 利用料金収入       | 35,304,440  | 4,872,740   | 管理費    | 97,211,181  | 85,335,749 |
| その他の収入       | 7,332,712   | 2,515,538   | その他の支出 | 4,740,466   | 1,373,523  |
| 合計 (a)       | 103,731,152 | 80,231,278  | 合計 (b) | 107,004,873 | 87,719,769 |
| 収支差額 (a)-(b) | △ 3,273,721 | △ 7,488,491 |        |             |            |

※指定管理者が変わった場合、前年度の収支状況には斜線を記入しています。

※参考

|         |         |
|---------|---------|
| 利用料金減免額 | 113,350 |
|---------|---------|

4 成果目標とその実績

|              |  |         |
|--------------|--|---------|
| 成果目標         | 施設延利用者数  | 73,300人 |
|              | 定員稼働率  | 26.5%   |
| 成果目標に対する実績   | 施設延利用者数  | 12,880人 |
|              | 定員稼働率  | 2.6%    |
| (参考指標)       | 施設利用者満足度   | 90%以上   |
| (参考指標に対する実績) | 施設利用者満足度   | 93.0%   |
| 今後の取組方針      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体が研修活動のために利用するリスクを踏まえて、「三重県立鈴鹿青少年センター利用に向けたガイドライン」で定める新型コロナウイルス感染防止対策を徹底する。</li> <li>・宿泊の取消や変更が続いているが、日程変更や宿泊研修から日帰り研修への変更に柔軟に対応して利用者数の落ち込みを抑える。</li> <li>・感染状況が改善するまでは必要な感染防止策をとったうえで主催事業を実施する。また、感染状況を見極めながら利用促進を図る。</li> </ul> |         |

5 管理業務に関する自己評価

| 評価の項目        | 評価 |    | コメント   |
|--------------|----|----|--|
|              | R1 | R2 |  |
| 1 管理業務の実施状況  | B  | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2期指定管理者から継続している交代制勤務の勤務時間を19時15分から22時30分まで大幅に繰り下げ、利用者への対応可能時間を延長することで利用者サービスの向上に努めた。</li> <li>・新型コロナウイルス対策として、ドアノブ、手すり等を定期的に消毒するほか、利用団体が使用する都度居室を消毒した。</li> <li>・施設維持管理では、キュービクルが老朽化したため、三重県教育委員会施工で変圧器の取替修繕がされた。修繕の必要な軒先落下防止対策や污水配管修繕を行ったが、新型コロナウイルスの影響で収支状況が悪化して、緊急に修繕の必要な箇所以外は実施できなかった。</li> <li>・予約のキャンセルが多く発生したため、業務に支障のない範囲で職員を休業させたが、経費を雇用調整助成金で補填した。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響により利用者が激減したため、経費の削減を図るため雇用調整助成金の活用を行った。</li> </ul> |
| 2 施設の利用状況    | B  | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケート等の意見や要望について対応可能な箇所から随時対応し、また、職員が利用者の視点に立って事前準備を行い、活動しやすい施設を提供をすることを心がけた。このことによりサービスの向上につながり、利用者の定着化を図ることができた。</li> <li>・日帰り利用に関しては、音が出ることから会場確保に苦慮している音楽系団体の利用についても、他団体に影響の出ない範囲で受入を行い、定期的に利用する団体の増加を図った。</li> <li>・感染防止のため、4月2日から5月19日まで48日間全館臨時休館したほか、利用団体には三重県立鈴鹿青少年センターの新型コロナウイルス対策ガイドラインに基づく安全対策に協力を求めた。</li> <li>・毎年開催されるイベントのスケジュールが変わると宿泊人数の大幅な増減が出やすいことからイベント情報などを事前に入手し対策を講じていく必要がある。</li> </ul>                     |
| 3 成果目標及びその実績 | B  | C  | <p>利用者数73,300人の成果目標に対して実績が12,880人とどまった。日帰り利用者数が8,013人で、過去5年間平均約14,900人の50%以上あったが、宿泊者の定員稼働率が2.56%で成果目標の10分の1程度に低下した。こうした状況は、コロナ禍において営業努力によって改善できるものではないが、これまでの利用団体には安全・安心な施設運営を行っていることのPRを行ってきた。引き続きこうした取り組みを積極的に行い、感染拡大収束後には利用者の増加に結びつけたい。</p>   |

※評価の項目「1」の評価 : 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。  
「B」 → 業務計画を順調に実施している。  
「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。  
「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」「3」の評価 : 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。  
「B」 → 当初の目標を達成している。  
「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。  
「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

|        |   |
|--------|---|
| 総括的な評価 | <ul style="list-style-type: none"><li>・指定管理者として、収支状況の悪化も踏まえて、職員のサービス意識やコスト意識が向上し、各職員が自らの役割を認識した上で利用者に対して接している。</li><li>・経費を抑制するために、専門的な場合を除き、可能な限り職員や設備管理員で対応を行うという意識が職員に定着し、空き時間等を活用して簡易な修繕などを行っている。</li><li>・社会教育施設という役割とともに、サービス業である宿泊施設という意識をもって、アンケート結果などを活用して、利用者が使いやすい施設提供を心がけて業務を行なった。</li><li>・成果目標については、年度当初に臨時休業したことや、年間を通して利用団体のキャンセルが相次いだこともあり、達成することができなかった。新型コロナウイルスの感染状況を踏まえつつ、利用団体の今後の動向など見極めていく必要がある。</li></ul> |
|--------|---|